



合格・内定

進路決定率 11/20 現在

45.2%

おめでとう!!

1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	32	33	34	35	36
37	38	39	40	41	42	43	44	45
46	47	48	49	50	51	52	53	54
55	56	57	58	59	60	61	62	



沖縄リハビリテーション福祉学院
作業療法学科

私は、誰かの助けになることが好きで、人をサポートする仕事かしたいと考えていました。その時に、テレビで作業療法が行われている場面を見て、作業療法士という仕事は自分の強みを活かしていける仕事だと感じたため、沖縄リハビリテーション福祉学院作業療法学科を志望しました。

受験までに経験したことは、新型コロナウイルスの影響でオフキャンパスに含めがでまなからたため、オンラインでの個別相談会に参加し、講義の内容や取り組みまた、作業療法について聞きました。

試験は、小論文と面接でしたが、受験までにたくさん練習をしたおかげで、しっかりと自分の考えを書き、伝えることができました。

合格後は、気を緩めず、入学後にテストがあるため、引き続き勉強を頑張っています。

後輩へのアドバイスは、自分のやりたいことをゆくりと考え決めていくことです。そして、進路活動では、時間に余裕を持ち、前もって取り組んでいったほうが良いと思います。

最後に、小論文対策、面接練習をしてくださった先生方、色々相談に乗り、アドバイスをくれた塾の先生方にはとても感謝しています。

本当にありがとうございました。

私は将来、体育教師になりたいと思っています。私自身、スポーツを一生懸命取り組んできて自分に自信が付き変わる事ができました。だから私は体育教師になって、スポーツを一生懸命取り組む事によって生徒に人は変わる事ができ、自分の可能性を広げることができるということを伝えていきたいと思っています。そのために大学でスポーツを一生懸命取り組んでもらうための指導法や環境づくり、コミュニケーションの取り方などを学びたいと思いました。

受験までにやってきたことは、プレゼンテーションの資料として全生徒にアンケートをとったり、小論文・面接対策を何回も練習した事です。

受験当日は少し緊張しましたが、日頃の練習のおかげで全ての項目を無事終えることができました。

合格後は、残りの学校生活を楽しくたくさん青春したいと思っています。後輩へのアドバイスとしては、早くから受験・就職活動をするると、良い意味でとても楽です。早い内から取り組みましょう。

最後に自分を支えてくれた学校の先生、塾の先生、家族、友達、全ての人に感謝です。本当にありがとうございました。



沖縄大学 福祉文化学科 健康スポーツ福祉専攻



僕が神戸電子へ志願した理由は、1つ、神戸電子は、業界の他の学校よりも、圧倒的に就職に強く、ホームページがあったからです。2つ、先輩が築き上げた功績にあっていて「指定校推薦」の枠があったからです。3つ、授業内容が自分に合っていたからで、進学しても続かかれば、意味が無いので、考え選びました。

受験日になって、僕はオープンキャンパスに参加しました。神戸電子では、指定校推薦の場合、オープンキャンパスに参加することで1000円の補助が受けられました。また、オープンキャンパスへの参加が面接免除の必須事項だったので、2回参加しました。

合格後は特待生試験の対策後、自分のやりたいことを思いがままにたずねました。自由に過ごしました。

推薦や受験生、オープンキャンパスには、それぞれ許可書が必要だったので、早めに準備していたのですが、あつた期間に間に合いませんでした。というではないので、いいです。

僕は、神戸電子の担当の先生にとってもお世話になりましたので、受験生のあつたコネクションは、大切にしたいと思います。

私が沖縄国際大学を志望した理由は、情報化社会に的確に対応できる能力を高めることができるためです。金融リテラシーを身につけることができる点や、社会変動が激しい現代社会において経済観点からの学びは非常に有益なものにたつることから経済学を選択しました。

受験までは、小論文やネットニュース等を通して経済に関する日本の課題を調べたり、様々な企業を細かく調べ、将来の進路の適正を考えていたという活動に力を入れていました。

受験当日は会場が緊張感に包まれていたものの、早い段階から準備を始めていたことで余裕を持って受験することができました。

私は進路決定において最も重要なことは自己分析だと考えています。自己分析がしっかりできていれば面接や書類作成時に困らないので、一番最初に手を付けることをおすすめします。

合格後の抱負は、入学後に取得を目指しているFPや簿記の勉強を少しずつ進め、知識を高めることです。

先輩へのアドバイスは、国語表現力を高めることと挑戦することを諦めないことです。国語が苦手な友人は書類作成や面接でもとても苦労していました。これから生きていく中で国語は非常に大切なものがあるため、

苦手なことを勉強することをおすすめします。挑戦することにおいては、私は音楽教師を目指して芸大や教育学部の進学に向けて取り組んでいましたが、漠然とした不安から進路を変更しました。十分に入学できる可能性があったことと後から知り、多少の後悔は残っています。目標があれば妥協せず、全力で挑戦してほしいです。

最後に、担当してくれた先生方、ありがとうございました。

